

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX:03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
7月4日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

7月1日から26日まで北海道→東京(太平洋)コースの茨城・千葉・東京を、7月28日から8月6日まで沖縄・宮崎・広島→長崎コースの佐賀・長崎を行進する国際青年リレー行進者のアン・スルギさん(韓国体育市民連帯)、7月14日から8月4日まで東京→広島コースの岡山・広島を行進する国際青年リレー行進者のニティヤリラ・サウロさん(フィリピン)のスピーチを紹介します。



アン・スルギ

私は韓国から来たアン・スルギと申します。20歳です。大学でスポーツ経営学を勉強しています。

教授に推薦されて今回の平和大行進に参加するようになりました。日本で戦争反対、原子力反対、平和のための平和大行進を毎年おこなっていることが分かりました。

韓国は休戦中の国です。まだ戦争が終わっていない国から来た私にとって、平和大行進は大きな意味があると感じています。韓国の青年を代表して日本の人びとと一緒にいることも大きな経験になると思って参加することにしました。

2019年平和大行進に参加できてとても楽しみです。

また、私をここに招待してくださった方々に感謝の意をお伝えします。

これから一緒にいるようになる時間のあいだ、たくさんのことを見て、聞いて、感じて、大きく成長したいと思います。

ニティヤリラ・サウロ

私にとって、ミュージシャンであるということは単に楽器を演奏することではなく、物語を語ることです。それは「聞く技術」を習得し、そして心を込めて聞くということです。同様に、私にとって歩くことは、聞くことの一つの形態です。歩く時、私たちは一步一步に気を配ります。そして注意深く気を配りながら歩くと、人の声に耳を傾けることができます。そして聞くことができれば、相手を理解できます。そして相手を理解できれば、私たちはお互いの物語の一部になることができるのです。



私が今日平和大行進に参加しているのは、戦争ではなく愛の物語、そして悲しむ人々ではなく寛大な心の人々の物語を広めたいからです。世界にはまだ多くの恐怖、欲、憎しみがありますが、愛、寛容さ、そして優しさも豊富にあることを、私たちは覚えておく必要があると思います。

私は今年の平和大行進を歩く一員となれて、とても光栄です。みんなと一緒に行進できるよう願っています。行進しながら私たちは日々、決断し、選択をしているのです。WALK、「歩く」とはどういう意味でしょうか。WALKのWは「Wake up = 目覚める」のW、Aは「Act = 行動する」のA、Lは「Listen = 聞く」のL、そしてKは「be Kind = 親切にする」のKです。

なぜなら平和は単なる目的地ではないからです。それは決断して選び取るものです。